

# 連携だより おおもり日赤



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

秋号 (第 25 号)

平成 21 年 10 月発行

日本赤十字社東京都支部

大森赤十字病院

〒143-8527

東京都大田区中央 4 丁目 30 番 11 号

TEL03-3775-3111(代)

FAX03-3776-0004(代)

## ★★★呼吸器科 ★★★



### 「呼吸器科の診療内容と活動のご紹介」

第二内科部長 (呼吸器科) 吉村邦彦



2009 年 7 月に第二内科部長 (呼吸器内科担当) として大森赤十字病院に着任いたしました。現在の当院呼吸器科の特色、診療内容、および活動に関してご紹介いたします。

現在の呼吸器科では呼吸器内科と呼吸器外科が一つの科に含まれ、共同して診療にあたっております。すなわち、あらゆる呼吸器疾患に対応できる「呼吸器センター」的な性格をもつ診療科です。すでに友安浩部長が 2002 年に着任し、現在の呼吸器科の基礎を築き上げてきましたが、さらにこのたび吉村が加わり、当科の内科系疾患の診療にあたっております。

呼吸器疾患には、肺炎やインフルエンザのような感染症、喘息などのアレルギー疾患、慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎、さらに肺癌など、たくさんの病気がございます。当科の特色である内科と外科の緊密な共同診療をもとに、今話題のインフルエンザをはじめ、高齢者の肺炎、肺癌など、全ての呼吸器疾患に対応できる診療体制を敷いております。とくに高い医療の質を担保するため、呼吸器関連学会の診断や治療のガイドラインに沿って、診療を実践するよう心掛けております。

呼吸器の疾患のなかで特筆すべきは肺癌であります。肺癌は現在悪性腫瘍による死亡原因の第一位を占め、年々ますます増加しております。近年、新しい抗癌剤が複数開発され、肺癌の治療成績は以前に比べて飛躍的に改善されてきましたが、未だに多くの方が毎年亡くなります。このような現状を踏まえて、当科では肺癌に対して手術療法、抗癌剤による化学療法、終末期の緩和療法などを積極的に行っております (現在のところ放射線治療は提携医療機関に依頼しております)。また、肺癌や慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎など、呼吸器疾患の多くは長年の喫煙がその原因となっておりますので、ガイドラインに基づいた薬物療法だけではなく、予防対策に力を入れ、禁煙の啓発・指導を積極的に行い、禁煙外来も担当しております。

私自身のこれまでの研究面では、症例をもとにした臨床研究に加えて、主に間質性肺炎やびまん性汎細気管支炎などのびまん性肺疾患、遺伝性呼吸器疾患、肺癌などについて、疾患の成り立ちやその病態の解明のために、細胞や遺伝子のレベルでの基礎研究とその臨床応用を手がけて参りました。それらの研究成果はこれまで多くの学会や研究会での発表や医学論文として世に問うてきております。

以上のように、常に最新の医学知見や情報に接しながら、標準的な治療に加えて可能な限り個別のテーラーメイド治療も提供できるよう、呼吸器科をあげて診療に取り組んで行く所存ですので、宜しくご指導、ご協力をお願い申し上げます。





★★★外科より ★★★

「“町の外科医”として」



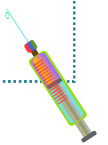
第二外科部長 渡辺 俊之



私は平成5年の4月、大森赤十字病院に着任しました。関東通信病院（現 NTT 東日本関東病院）でのレジデント生活を終え、ある大学に入局することが決まりかけていましたが、縁があって進路を変更し大森日赤外科にお世話になることになりました。外科医としての基礎を叩き込んでくれた当時のボスは、「君は町医者になりなさい。」と言って私を送り出してくれました。以来、大学に身を置かない不安は常にありましたが、何でも上手く切れる、立派な町の外科医になろうという思いで頑張ってきたつもりです。“ちゃんと手術して無事に帰す”ことが何よりも大事であり、最先端の高度な研究からは離れましたが、町医者としての自分に常に誇りを持って来ました。大森日赤に着任してからは、当時の小西副院長、根岸部長にしごかれ、また東大第一外科からローテーションで赴任してくる医師たちからも指導を受けることができ、消化器外科全般にわたる手術の腕を磨くことができました。また、休日や深夜の緊急手術も何度も行ってきましたし、当直も今では月2回程度に減りましたが、若いころは4～5回やっていたので、当直した日数をすべて合わせると優に丸1年以上、微力ながらこの地域の救急医療にも貢献してきたのではないかと自負しております。体力的に当直もきつくなりつつありますが、息が詰まりそうに狭く、カビ臭い当直室ともまもなくお別れです。よくこんな当直室で頑張ってきたなど、最近しみじみ思います。

診療に追われる日々を過ごしていつの間にか16年以上もの月日が経過し、30歳前で赴任した若かった医師もすでに40後半、2008年1月より第二外科部長を拝命することになりました。この4月からは東京大学腫瘍外科大腸グループより第一外科部長として佐々木も着任し、力を合わせ一丸となって診療に力を注いでおります。一般・消化器外科の分野で、この地域の医療に存分に貢献したいと思っています。癌の診療では特に胃癌、大腸癌、乳癌に力を入れており、大学と遜色のない診療を行えます。件数は少ないですが、食道、膵臓、肝臓の手術も手がけています。移植と乳房の再建以外、何でもできます。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

最後に、前述のボスからはもう一言、「人から受けた恩は忘れるな。」という教えを頂きました。私を育て、支えてくれた全ての人々への感謝の気持ちを忘れずに、これからもこの地域の医療の発展のために頑張っていきたいと思っております。



### 【病院の基本理念】

信頼され心あたたまる病院

### 【基本方針】

1. 安全で質の高い・患者様の立場にたった丁寧な医療を提供します。
2. 救急医療の充実と発展に努めます。
3. 地域医療連携を推し進めます。
4. 災害救護に積極的に取り組みます。
5. 経営の健全化を図りその成果を医療活動に還元します。
6. 医療従事者の教育と研修を推進します。



# 改築NEWS

平成20年2月に着工してから、10月現在で20ヶ月が経過しました。本年7月から地上階躯体工事が行われ、現在3階、4階部分の工事を行っています。12月には7階+棟屋が完成し、その後内装仕上工事などがあり、来年の5月には第1期オープンの予定です。



//工事現場・全景 北側屋上より H21.9 現在//



//道路南側より H21.9 現在//

新病院では赤十字の医療機関として、大規模災害時における救護体制の整備を図ることのできる安全な病院づくりのために**免震構造**を採用しました。

## 免震と耐震の違いは？

地震の揺れに対して耐震は建物が耐えることを想定したもので、建築物が崩壊しないような構造になっていますが、ある程度の被害は想定されています。それに対して免震は免れる（まぬがれる）ことを目的として、積層ゴム等を設置しそこで地震のエネルギーを吸収し揺れを軽減します。崩壊しないことはもちろんのこと、その後も病院が十分な機能を発揮できるような構造となっています。

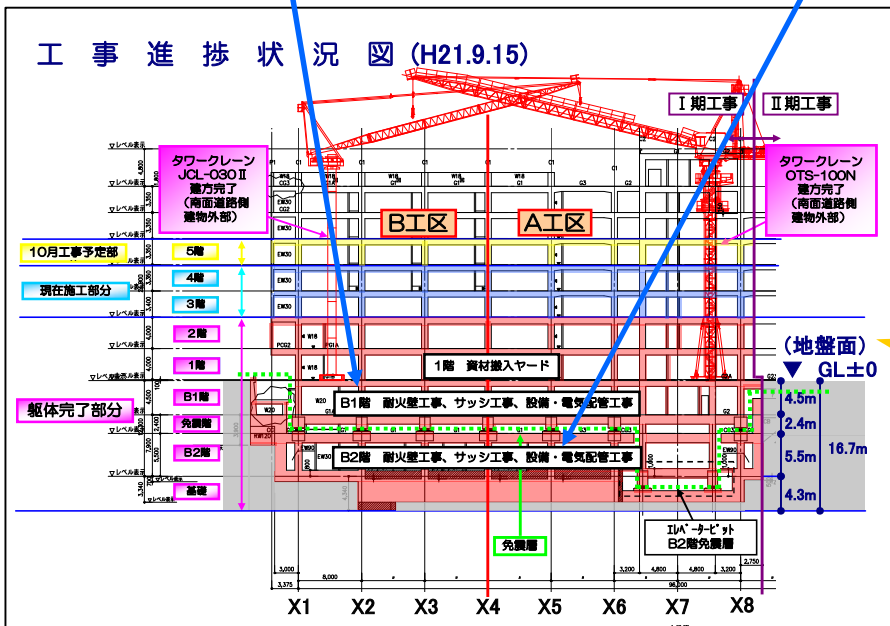


//免震装置（積層ゴム）//



//地下2階 ボイラー設置の様子//

## 工事進捗状況図 (H21.9.15)



左の図は9月15日現在の工事進捗状況です。

完了工事部分  
地下基礎～2階躯体

現在工事部分  
3階～4階躯体

### ★★★連携室よりお知らせ★★★



#### 《FAX予約について》

患者様のご紹介予約および検査予約を電話でのみ行っておりましたが、この度FAXでの予約を受けられることと致しました。個人情報保護のためFAX用紙には患者氏名は記入しないことと致しますが、FAXを受けたら当院連携室より折り返しお電話を入れますので、患者情報をご教示ください。アポイントメントの調整は当院連携室が患者様のご自宅または携帯電話に直接連絡を入れて行います。このシステムにより先生方は診療を中止することなく予約が可能です。

つきましては、『FAX予約申込書』を新しく発行いたしましたので、必要がございましたら送付させていただきますので、連携室までご連絡ください。

なお、従来通り電話での予約申込も行っております。

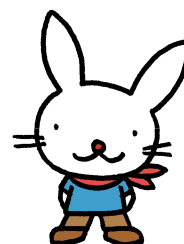


#### 《消化器科予約のご案内》

消化器科外来予約に連携室専用の予約枠があります！

火曜日：太原 洋医師	} 9：30～10：00 各2名
水曜日：諸橋 大樹医師	
木曜日：井田 智則医師	

※なお、後藤医師の診療日は随時予約可能です。



#### 《精神神経科のご案内》

精神神経科の受診は**完全予約制**とさせていただきます。予約をいただいていない場合には、当日受診出来ない場合もございますので予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

### ★★★登録医のご案内★★★

大森赤十字病院における地域連携システムの趣旨に賛同し、登録医に申請して頂ける先生方は是非ご登録下さいますようご案内申し上げます。

詳細につきましては医療連携室までお問い合わせください。



#### 《医療連携室のご案内》

受付時間	月～金	8：30～17：00
担当	看護係長	友岡道子
	事務担当	鈴木文子、水村加織
休診日	土曜日、日曜日、祝祭日 年末年始（12/29～1/3） 5月1日（日本赤十字社創立記念日）	
T E L	03-3775-3676（直通）	
F A X	03-3775-3653	
U R L	<a href="http://www.omori.jrc.or.jp/">http://www.omori.jrc.or.jp/</a>	
発行人	大森赤十字病院 医療連携係	

